

「耕種版インテグレーション加速化事業」に関する業務委託仕様書

1 委託業務名

耕種版インテグレーション加速化事業

2 目的

担い手の減少や高齢化等が進行する露地野菜産地において、産地の作業体制を分析し、生産性向上に係る資機材の導入を支援するとともに、優良な取組の他産地・多品目への横展開の推進を通じて、耕種版インテグレーションの取組を加速化する。

3 委託業務の内容

公募により選定した事業者（以下「選定事業者」という。）は、分析対象者に対し、以下の業務を行うものとする。

(1) 生産改善提案書の提出

分析対象者の生産管理工程について現状分析を行うとともに、生産改善提案書を提出すること。

なお、生産改善提案書には以下の内容を含むこと。

①生産工程の分析

生産管理の各工程に係る作業人数、作業時間、必要機械等を調査し、人件費、燃料費等の経費及び課題を分析すること。なお、分析には圃場面積や位置等の情報も含み、移動に係る時間や費用も勘案すること。

②改善方法の検討

分析対象者の生産計画を調査の上、生産能力を最大限生かすための圃場の有効活用手法（品目や品種、作型等）、各工程の効率化等を検討すること。

また、改善には労力削減、作業時間の短縮等の成果が見込めるとともに、実需者への出荷まで一連の工程が効率化できるよう留意すること。

なお、機械導入・改良による効率化の検討にあたっては、機械化に適した圃場条件、栽培管理方法等を合わせて提案すること。

③生産性向上等の検証

提案する改善工程による効率について試算すること。また、機械等の導入・改良の提案にあたっては、導入費用、運用費用、生産性向上に係る増収、費用削減効果等を整理し、経済性を評価すること。

④その他、各作業の改善に関すること。

(2) 改善指導の実施

- ・ 分析対象者へ生産改善提案書に基づき指導を行い、改善を促すこと。なお、分析対象者の質問、要望等には可能な限り応えること。

また、必要に応じて各工程における作業手順書等の作成を支援すること。

(3) 実施報告書の提出

- ・ 業務の内容及び成果等についてまとめた実施報告書を提出すること。

実施報告書 1部

上記の電子ファイルが格納されている電子媒体 一式

(4) その他業務実施に当たって必要な事項

4 委託期間

契約締結の日から令和4年3月31日まで

5 その他

- (1) 選定事業者は、業務を行うに当たり分析対象者と十分に調整を行うこと。また、発注者と常に綿密な連絡を取り、適切な業務遂行を図ること。
- (2) 本事業による成果物は発注者に帰属するものとし、その取り扱いについては発注者との協議によるものとする。